

所属・氏名（ 助産学専攻科 氏名：百田 由希子 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
(報告・発表) 1) 「小さな生命を守るため」の多職種連携による地域ボランティア活動	共	2019年6月	第21回日本母性看護学会学術集会	多職種連携による地域ボランティア活動についての報告を行った。 田川紀美子, 上野陽子, 百田由希子, 八橋孝介, 久保木紀子, 大平光子
2) Survey of the perceptions of parents and grandparents regarding childrearing	共	2020年1月	23rd East Asian Forum of NursingG Scholars	The purpose of the study were to clarify differences in parenting and grandparents perceptions of parenting. Yukiko Hyakuta, Misae Shinomiya, Yoko Yasuda, Toshie Miyoshi, Eri Goda
3) 中山間地域の子育て支援 妊娠から出産、育児まで	共	2020年7月	第22回日本母性看護学会学術集会	親子の触れ合いを通じて、感覚機能を養い、情緒的な絆や安心感、信頼感を育むことを目的とし、ベビーマッサージやプレパパ・ママ教室を実施したので、その様子を報告する。 百田由希子, 平田知子
4) The relationship between child maltreatment and the COVID-19 epidemic	共	2025年2月	28rd East Asian Forum of NursingG Scholars	The purpose of this study was to clarify the association between child maltreatment, such as parents yelling at their children, and the COVID-19 epidemic.
(紀要) 1) 産褥早期の母親役割獲得行動をアセスメントする看護職の視点 - デルファイ法を用いた調査	共	2018年12月	新見公立大学紀要 39巻 211-216	産褥早期の母親役割獲得プロセスを円滑に移行させる看護介入を行う上で看護職者が実施している産褥早期における母親役割獲得行動を明らかにした。 百田由希子, 松森直美
2) 大学生が受けてきた性教育の現状と課題 - 性教育の内容 -	共	2018年12月	新見公立大学紀要 39巻 65-70	本研究は、大学生が今までに受けてきた性教育の内容を明らかにし、今後の性教育のあり方の示唆を得ることを目的とした。 四宮美佐恵, 安田陽子, 百田由希子, 金山時恵 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
3) 父母・祖父母による子・孫育てに対する認識の実態調査	共	2019年12月	新見公立大学紀要 40巻 153-158	子育て支援の一助を得るために、父母が祖父母に対して、祖父母が父母に対して抱く育児観の世代間の認識の相違を明らかにした。共著者：百田由希子, 四宮美佐恵, 安田陽子, 三好年江, 合田衣里
4) 妊娠期から切れ目のない子育て支援を考える	共	2020年12月	新見公立大学紀要 41巻 153-156	親子のふれあいや妊娠期からの積極的な育児支援へつなげることを目的に教室を企画した。 百田 由希子, 平田 知子, 三好 年江